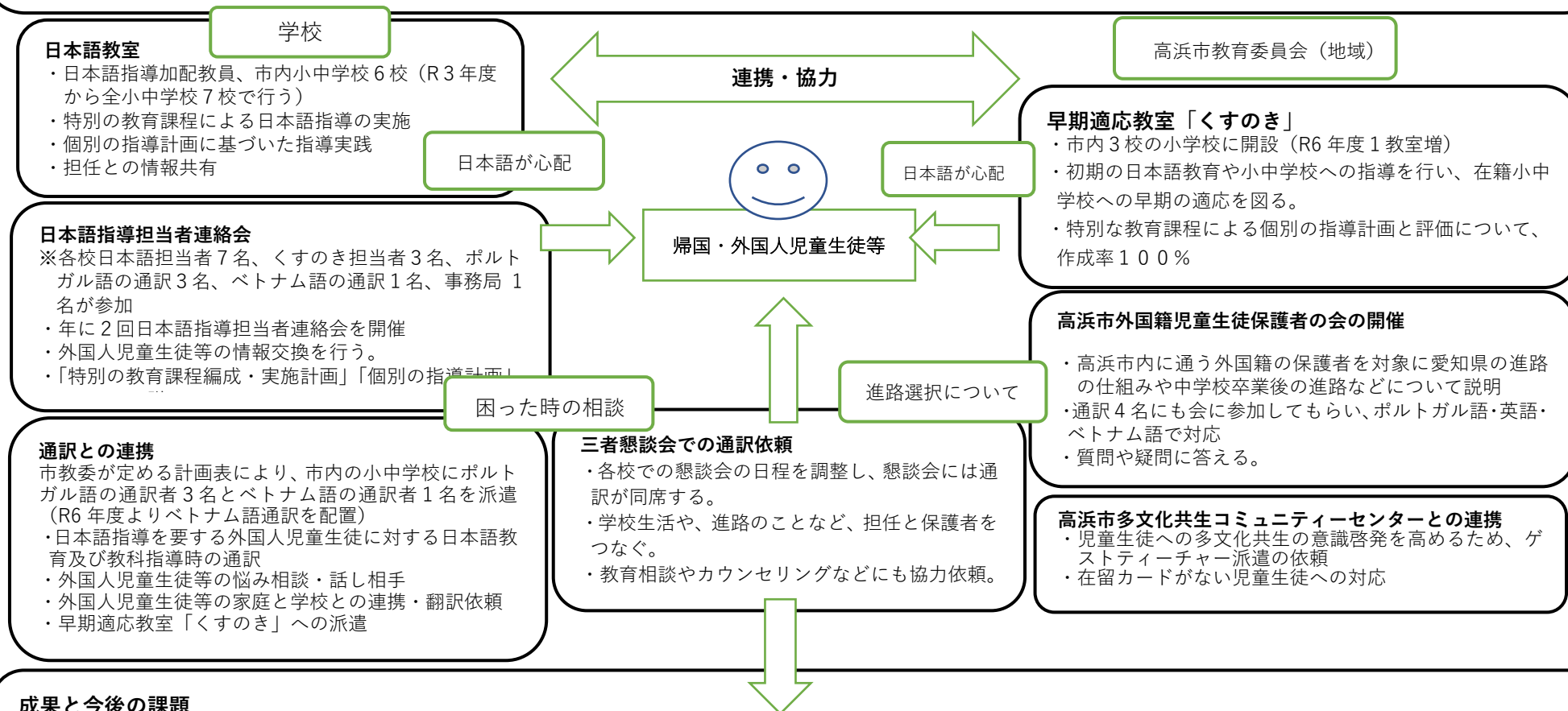


## 現状と課題

- 高浜市への外国人の方の転入は年々増加を続け、現在では愛知県内でも総人口に占める外国人割合は県内でもトップクラスとなり、多言語化も進んでいる。それぞれの児童生徒に応じたきめ細やかな指導が必要となっている。
- 早期適応教室での初期の日本語指導の体制が整備されてきている中で、日常会話ができるようになった児童生徒でも、授業や教科書の内容までしっかり理解できているとは限らず、進学の道はまだまだ厳しいのが現状。
- こうした現状を打破すべく、外国人児童生徒等の受け入れ環境の整備を進めるためには、日本語早期適応教室の指導員や多言語の通訳の充実を図るとともに、1人1台配付されたタブレットなどの活用により、効率的に支援・指導を行うことが必要不可欠



## 成果と今後の課題

- ・「早期適応教室」の実施により、日本語教育が必要な児童生徒に対して、学校生活に即した日本語の習得や日本での生活習慣に慣れることで、在籍する小中学校への早期の適応を図ることができた。今後は、地域との情報交換・連携し、教室運営の拡充や、多言語に対応できる通訳の配置などを行いたい。
- ・日本語早期適応指導が必要な児童生徒が、早期適応教室「くすのき」において、指導を受けている割合 100%
- ・早期適応教室において、きめ細やかな支援を受けることで、該当児童生徒が、その後小中学校義務教育課程修了まで、通うことができる割合100%